

議会だより

第90号

令和8年4月30日発行



主な内容

- 第139回定例会の結果 …………… P2～7
- 一般質問 …………… P8～16
- 第138回臨時会の結果 …………… P17
- 中学校の卒業式でインタビュー …… P20

▲ 3月20日 諭鶴羽神社 さいとうだいごまくほうよう 採燈大護摩供法要
毎年3月下旬頃、全国から山伏などが集まり催される。

南あわじ市議会
ホームページ



 マチイロ



南あわじ市議会
YouTube



<https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/site/gikai/>

令和8年度予算審査

委員長：吉田 良子

副委員長：仲野 加枝

開催期間 3月11、12、16、17日

委員：議長を除く全議員

令和8年度当初予算(一般・特別・企業会計)の総額は521億4,966万円(令和7年度に比べ5億865万円増) 議会は予算審査特別委員会を立ち上げ、その審査に臨みました。

審査において議会から市長部局へ伝えた主な **提言** をピックアップしてお知らせします。

地域

担い手不足解消へ

地域の担い手づくり事業補助金 100万円
地域づくり事業交付金(担い手確保加算) 200万円

地域の担い手づくり事業補助金…地域の若者層の発掘を目的とし、若者が地域活性化事業を主体的に実施する場合、10万円を上限として交付。

地域づくり事業交付金(担い手確保加算)…発掘した若者層を地域活動の担い手として定着させるため地域づくり協議会内に若者層主体の組織を設置した場合に20万円を上限として交付。

これらの支援により、担い手不足の解消が期待されると考えるが、一度、若者層を確保できたとしても、その担い手が高齢化すると再び、担い手不足が懸念される。そのため担い手の確保が途切れないよう、継続的な仕組みについても検討していただきたい。



▲地域の担い手づくり事業での取組

介護

訪問型フレイル外来を開始

フレイル外来委託料 395万9,000円

専門職が自宅へ出向き、外出に不安がある高齢者や移動手段を持たない高齢者でも無理なくフレイル外来を受診可能。

介護状態への移行を防止する極めて重要な事業であるため、情報収集が困難な高齢者にも情報が確実に届くよう、周知啓発を徹底していただきたい。



福祉

新規事業 市内の医師確保へ

未来医療サポート補助金 1,000万円

次世代を担う医師を呼び込み、市民が身近な場所で安心して医療を受けられる体制を再構築。

補助対象

小児科、産婦人科、婦人科、助産院の新規開業費用等を支援し、医師の定着を図るとともに、既存医院の設備更新に対する助成も実施。

市民が安心して医療を受けられる環境を整えることは本市の重要な施策であるため、持続可能な医療が提供できる体制を構築していただきたい。



観光

観光交流人口の拡大へ

大鳴門橋周辺環境整備事業 7億9,300万円

- ・淡路島南駐車場の整備工事費
- ・本州四国連絡高速道路(株)へ委託する高速バス停の移設
- ・うずまちテラス崩落対策工事費など

この整備事業がもたらす効果が費用に見合うものであるのか、地域の交通課題解決や観光振興にどう寄与していくのか、的確に検証し、確実な成果を示していただきたい。



▲うずまちテラス

交通

らん・らんバスに

全国共通の交通系ICカード決済を導入

ひょうご新ICサービス事業補助金 289万9,000円

- ・兵庫県が県下全域に導入を推進
- ・マイナンバーカードと連携し、身分証明書を提示しなくても割引後の運賃が適用される
- ・キャッシュレス傾向の高い観光客やインバウンドの利便性の向上

キャッシュレス決済に精通していない方にとっては、ハードルが高く、利用が進まない可能性があるため、市民の誰もが便利に公共交通を利用できるよう、方策を検討し、利用促進に努めていただきたい。



防災

防災行政無線を更新

防災行政無線管理事業費 6億4,358万8,000円

設置から約10年が経過しているため、令和7年度から9年度の3か年で工事を実施。

災害時でも大丈夫？

- ・独自の電波方式のため携帯電話の通信状況に関わらず通信可能
- ・機器の不具合の設備保守管理は、業者が365日24時間体制で対応
- ・屋外スピーカーは蓄電池を備えており、1時間あたり5分の放送であれば最大72時間の放送が可能

防災行政無線は市民にとって命綱となる重要な情報伝達手段であるため、今後も市民の命を守る仕組みとして確実に機能するよう、運用していただきたい。



▲新しい個別受信機

教育

「島のゆくりば」の対象者を18歳未満に引き上げ

子どもの第三の居場所運営業務委託料 2,149万円

令和8年6月より、運営資金がB&G財団助成金からこども家庭庁の補助金に変更。

居場所がなく悩む子どもたちに対する学習面、生活面および心理的サポートは大変重要であるため、福祉部門等と連携しながら、支援を続けていただきたい。



▲島のゆくりば

「MINA・KATSU」部活動の地域展開
部活動地域展開推進事業 1,240万円

ミナ・カツ応援補助金…中学生を受け入れて活動する団体が行う指導者の資格取得、送迎アプリの構築、備品購入、イベントの開催に対する補助。

送迎アプリの構築に関しては、団体ごとに個別に構築するのではなく、一元化するなど効率的な方法を検討していただきたい。

指導者の資格取得については、文化・芸術分野において指導者資格が存在しない場合が多く、指導者が独自に能力向上を図っていることから、これらに対する支援体制も整備していただきたい。

中学校、中学校体育連盟および各種団体等と調整を行うコーディネーターを1名配置。

地域クラブの活動時間、運営に関する制約や条件等を早急に示すことが必要であるため、円滑に調整を進めていただきたい。

このキャラクターについては、明日発行の広報南あわじ5月号を見てね。



過去の委員会や定例会を見てみたい

●QRコードをスマートフォンやタブレット等で読み取ると視聴できます。

※注意事項
配信されている映像・音声は、南あわじ市議会の公式記録ではありません。
動画の再生には別途通信料がかかる場合があります。



■討論

反対 吉田 良子 議員

討論要旨

4月から小学校の給食費は無償だが、中学校の給食費は全国や兵庫県内、淡路島内でも無償化が広がっている中、物価高騰分の支援のみである。また、市営住宅の建設が進まない問題や、高齢者等の移動手手段の改善、さらに体育館のエアコン設置のための予算も必要である。

賛成 蛭子 智彦 議員

討論要旨

住民の全ての要望を取り入れることは不可能であるが、厳しい財政事情の中で、社会的弱者にも配慮し、子育て世帯や若者にも希望を抱かせるバランスの取れた予算。

原案可決

■予算書について教えて

令和8年度予算書やわかりやすく説明した事業概要説明書は、市のホームページに掲載しています。QRコードからご覧ください。



おもな審議について (会期:2月24日~3月25日)

議案第3号
令和7年度一般会計補正予算(第8号)

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ2億4,554万8,000円を減額。

▶保育所費 負担金6,590万円の増額

- ・保育士の処遇改善加算(令和7年4月から遡及)
- ・事業所内保育所を利用する児童が5名増加による負担金増

▶灘黒岩水仙郷園地安全対策工事費 5,200万円の増額

令和8年度から9年度まで、過疎債を活用し落石対策工事を実施する。



▲灘黒岩水仙郷

原案可決

議案第31号
児童館条例を廃止する条例制定

児童館を廃止、どうなるの?

理由

児童の放課後等の活動の場として実施するアフタースクール事業が充足してきたため。

廃止後の跡地利用

防災面や地域の健康づくりの活動拠点としての活用等、様々な選択肢の中から地元と協議調整していく。



▲児童館

原案可決

議案第32号
福祉医療費助成条例の一部を改正する条例制定

乳幼児等医療費助成の対象者950人増

理由・改正内容

乳幼児等の入院及び入院以外の療養にかかる所得制限を改正したため。

対象者への周知方法

対象者へは福祉医療費受給者証を発行。また、市の広報、ホームページや公式LINE、医療機関の窓口でも周知。



原案可決

議案第36号
下水道事業審議会条例制定

下水道事業審議会を設置

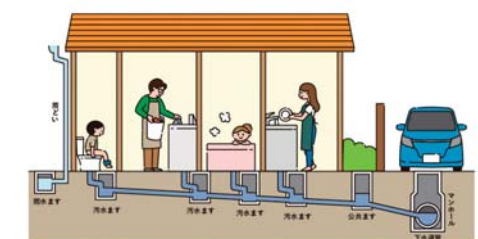
審議会では下水道事業の健全な運営に必要な事項や事業の計画変更、経営戦略の改定など広く下水道事業に関することを審議。

適正な下水道使用料の見直しは、重要な議題。

審議会委員の構成

- ・委員数 10名以内
(10名中4名は女性の登用を予定)
- ・学識経験者や専門的な知識を持つ者、住民の代表として公募委員、大口利用者の意見を反映するため各種団体からの推薦を予定

原案可決



議案第38号
辺地に係る公共的施設の総合的な整備計画の変更（伊毘辺地）

大鳴門橋周辺地域の観光客増加に対応するため新設する駐車場整備事業費が大幅に増加

令和8、9年度で4億3,100万円増。
変更の経緯
実施設計がほぼ完了し、事業費を現状に即して精査し、物価上昇を考慮したことによる計画変更。
工事内容
・雨水対策の調整池工事
・安全対策の道路改良工事
・駐車場の満空表示板設置工事



原案可決

議案第42号
公の施設の指定管理者の指定期間の変更（ゆーぷる）

天井の劣化による長期休館、再開未定

築25年を経過しており、足場を組んで詳細な目視、打診調査をしたところ、想像以上に腐食が進んでいた。
従業員の処遇については、希望を聞き、他の施設への紹介を行う。

原案可決

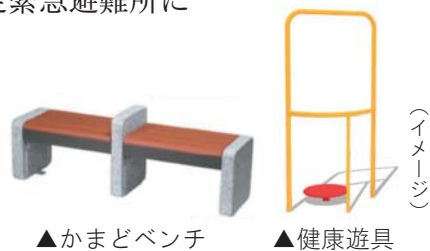


議案第40号
三原庁舎跡地公園整備工事請負変更契約の締結

かまどベンチ7基から3基に削減、健康遊具4基から5基に増加

かまどベンチは3基でも防災機能が果たせるため、健康増進を図る観点から健康遊具を追加。
駐車場には緊急車両や地域の消防団の車両の乗り入れも想定されており、防災機能のある公園にしていく。
完成後、指定緊急避難所に指定予定。

原案可決



人事案件 【敬称略】

■ **固定資産評価審査委員会委員の選任**
同意 藤岡 崇文、山崎 茂樹、秦 紳一郎、出田 裕重
任期 令和8年4月1日～令和11年3月31日

■ **教育委員会委員の任命**
同意 青木 京
任期 令和8年3月31日～令和12年3月30日

■ **人権擁護委員候補者の推薦**
適任 山本 壽美、酒井 義夫
任期 令和8年7月1日～令和11年6月30日

議決結果

■ **全議員賛成の議案**

提出者	議案名	議決結果	提出者	議案名	議決結果
市長	令和7年度補正予算 一般会計補正予算(第8号)	原案可決	市長	アフタースクール事業の実施に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	令和7年度補正予算 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	市長	手数料条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	令和7年度補正予算 後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決	市長	児童館条例を廃止する条例制定	原案可決
市長	令和7年度補正予算 介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	市長	福祉医療費助成条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	令和7年度補正予算 産業廃棄物最終処分事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	市長	介護保険条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	令和7年度補正予算 国民宿舎事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	市長	中小企業・小規模企業振興条例検討委員会条例制定	原案可決
市長	令和8年度当初予算 土地開発事業特別会計予算	原案可決	市長	下水道事業審議会条例制定	原案可決
市長	令和8年度当初予算 産業廃棄物最終処分事業特別会計予算	原案可決	市長	下水道事業審議会条例制定	原案可決
市長	令和8年度当初予算 下水道事業会計予算	原案可決	市長	過疎地域持続的発展計画の策定	原案可決
市長	令和8年度当初予算 広田財産区特別会計予算	原案可決	市長	辺地に係る公共的施設の総合的な整備計画の変更（伊毘辺地）	原案可決
市長	令和8年度当初予算 福良財産区特別会計予算	原案可決	市長	公の施設の指定管理者の指定期間の変更（休日応急診療所）	原案可決
市長	令和8年度当初予算 北阿万財産区特別会計予算	原案可決	市長	三原庁舎跡地公園整備工事請負変更契約の締結	原案可決
市長	令和8年度当初予算 沼島財産区特別会計予算	原案可決	市長	公の施設の指定管理者の指定期間の変更（ゆーぷる）	原案可決
市長	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決	市長	令和7年度一般会計補正予算(第9号)	原案可決
市長	固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例制定	原案可決	市長	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意
市長	職員の高齢者部分休業に関する条例制定	原案可決	市長	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意
市長	令和8年4月に実施する市の組織改編に伴う関係条例の整理に関する条例制定	原案可決	市長	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意
市長	特別会計条例の一部を改正する条例制定	原案可決	市長	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意
市長	慶野松原松林保全基金条例の一部を改正する条例制定	原案可決	市長	教育委員会委員の任命	同意
市長	国民宿舎基金条例を廃止する条例制定	原案可決	市長	人権擁護委員候補者の推薦	適任
市長	消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定	原案可決	市長	人権擁護委員候補者の推薦	適任
市長	歴史民俗資料館条例を廃止する条例制定	原案可決	議会運営委員会	議会委員会条例の一部を改正する条例制定	原案可決

■ **賛否の分かれた議案**

議長（谷口博文）は表決に加わらない。（○は賛成、×は反対）

提出者	議案名	議決結果	久米啓右	蔭山順子	吉田良子	大江幸司	蛭子智彦	熊田由貴	山野大祐	三澤加枝	仲野中久美	道内孝次	廣内志津子	北条志巧	齋藤勇樹	山口拓生	原部久信	印部久守	阿部	
市長	令和8年度当初予算 一般会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	令和8年度当初予算 国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	令和8年度当初予算 後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	令和8年度当初予算 介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	都市公園条例の一部を改正する条例制定	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

市政を問う

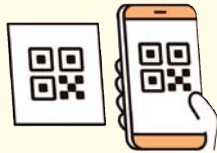
～より良い南あわじ市へ～

3月4、5、9、10日の4日間にわたって、議員17人が一般質問を行いました。

QRコードからアクセス！

スマートフォンやタブレット等で質問議員のQRコードを読み取ると、さんさんネットで放送した「一般質問」の録画映像をご覧いただけます。

※動画の再生には別途通信料がかかる場合があります。



会派代表質問



令和8年度施政方針について

誠道クラブ 阿部 守 議員



市長の最重点分野について問う！

問 市長が最も政治的責任を負う最重点分野は何か。

答 重点を「健幸と食、そして学びを育む未来創生」に定め、一点目は健康現役社会を作る。二点目は五感を満たし、賑わう食の島づくり。三点目は学びのいぶき、子育て支援。の三つを重点事業とする。

問 政治には優先順位がある。限られた予算、人員の中で取って一つに絞るなら何か。

答 市長としては、学びのい

ぶき、子育て支援の部分にエネルギーを注ぐ。

五つの行動について問う！

問 超高齢社会への挑戦において、市として必ず公表する指標セットは何か。

答 三つの目標を掲げて取り組む。一つ目が高齢者の社会参加と就労促進。二つ目は健康寿命の延伸と介護予防。三つ目は地域包括ケアシステムの高度化と充実である。

問 子育てコンソーシアムを自走させる組織へ発展させる自走の定義は。

答 企業自ら解決したい課題を抽出・提案し解決を図る枠組みで展開する。

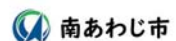
問 小中学校のLED化は年度末にどこまで進んでいるのか。

答 全小中学校の校舎、屋内運動場のLED化を完了する。

令和8年度 施政方針

子育ての喜びが見えるまちの実現を目指して

「健幸と食、そして学びを育む未来創生予算」



会派代表質問



施政方針について

心和の会 久米 啓右 議員



問 「日本経済のエンジン」となり得る南あわじ市のエンジンとは何か？

答 一次産業と観光産業を融合させた双発のエンジンとして飛行機を飛ばしていくというイメージと思っている。

問 具体的な例を挙げて、これから実施すれば原動力となり得る施策を述べよ。

答 神戸市との連携で淡路島を食のエリアとして発信していく。福良地区の空き家の活用で世界一の食の島づくりの一つの拠点とする。昨年10月

にオープンした道の駅うずしお、このレストランでは、淡路島たまねぎ、淡路牛等のメニューで渦潮と南あわじ市の生産力を融合した魅力発信をしていく。

問 地方から国や県を動かせるものは何か。

答 働くシニア応援プロジェクトが非常に先進的であるということで、国の機関であるハローワーク洲本と共催して参加事業者と求職者が面談を行ってマッチングができる。正式な職業紹介という運営体

制が構築できた。

学校教育では一斉講義型の授業から、子どもたちを学習の主体として位置づける具体的な実践モデルとし、市外に関心の高いものとなった。



会派代表質問



「安全・安心のまちづくり」の中で道路整備について

絆 廣内 孝次 議員



問 榎列小学校横を通る大谷鮎原神代線は、道幅が狭く歩道もないが子どもたちの通学路となっている。特に、大榎列古津路線と古長田線のクラックとなっている部分は、大型車や通勤する自動車も大変多い状況である。危険なクラックの解消として大榎列古津路線と古長田線の接続は。

答 交通量の増加や速度の速い車の増加による安全面の不安などで地元同意を得ることができなかったことと地権者の一部の方から用地の協力が

難しいことを確認した。地方創生道整備交付金事業を活用しているが、令和9年度までに事業の進捗が見込めず、事業効果が期待できないので休止という判断をした。

問 子ども議会で水路に蓋をと要望があったが、道端にポールの設置と蓋をして子どもの安全確保を図ってはどうか。

答 水路の民地側壁の所有者の同意と水利組合や田主との協議、接する沿道のお宅の了解・調整が必要になるなどで課題解消のめどが立っていない。

問 道路の白線の摩耗・消滅箇所の補修は。

答 区画線延長は330キロあり、区画線の劣化状況は把握している。維持管理予算の中で優先順位をつけて対応している。

その他、施政方針の内容について質問した。



▲大榎列古津路線と古長田線のクラック



湊地区の再開発と活性化について

心和の会 蛭子 智彦 議員



問 湊地区の活性化のために地域づくり協議会で湊地域のゾーニングをつくった。よく考えられた資料。まとめた経緯は。

答 地元の方が集まって様々な検討され、今、どこまでの段階にあるのかはわからないけれど、構想を作りつつあるということではないか。

問 5年、10年の幅の話ではなく、50年100年先の湊をどうするか議論が必要。このゾーニングはまだ荒削り、市長も地域づくりのリーダーという

仕事もあるのではないか。

答 下から住民の方を持ち上げていくアプローチがいて感じている。

問 物足りない。市役所の持つ知識、情報、専門的な立場をいかにしながら地域を引っ張っていく作業、それも行政の仕事だと思う。

答 議員の熱、これがベースになると思う。それをどう広げていくかだと思う。会に入って応援するという事はできると思う。

問 この地域をどうしていく

かということ問いかけ、運動化することを市は語ってほしい。

答 地域の方がこんなまちにしたいというところが一番大事だと思う。市はバックアップする立場を貫きたい。

他に、松帆の圃場整備、慶野松原政策についての質問をした。



南あわじ市の未来はどうか

誠道クラブ 原 拓生 議員



民泊の現状と課題

問 民泊の届け出における旅館業法、住宅宿泊事業法それぞれの制度上の違いは。

答 旅館業法(簡易宿泊所)が9割、住宅宿泊事業法が1割。後者は住民への説明会開催が義務付けられており営業日数が180日に制限されているが、前者は説明会開催の義務や営業日数の制限はない。

問 問題の傾向と対応は。

答 騒音約32%、ゴミ14%。洲本健康福祉事務所と連携し、兵庫県、淡路島3市、島内警

察の関係者で対策を検討。

問 避難周知は。

答 民泊新法は避難経路表示義務あり、旅館業法は屋外避難経路の提示義務なし。ハザードマップ設置や防災無線で補完。

不登校支援

問 現状と改称の狙いは。

答 南あわじ市の不登校率は小学校1.71%、中学校6.50%。学校復帰中心から社会的自立支援へ転換し「適応教室」から「教育サポートルーム」に改称。

問 進路への影響は。

答 欠席日数は合否資料とされず、通室は校長判断で出席扱い可。

問 今後の支援体制は。

答 校内・校外・第三の居場所が連携し、切れ目のない支援体制を構築。



南あわじ市のコミュニティ施策について

誠道クラブ 山口 勇樹 議員



自治会加入について

問 自治会加入促進事業の成果は。

答 チラシ作成支援等により、自治会活動が可視化されたことで新規加入につながったほか、活動の整理や再確認が進んだ。

防災面のコミュニティ施策について

問 自主防災組織の組織率は。

答 組織率は97%と高い水準。各組織で地域特性に応じた地域の防災力の強化が進んで

いる。

問 個別避難計画の推進は。

答 課題は多いが一つ一つ積み上げていく。

安全・安心面からみたコミュニティ施策について

問 防犯機能付き電話購入補助の効果は。

答 9割の方が効果があるというアンケート結果。

問 チームオレンジの役割は。

答 見守り活動のほか、認知症カフェの運営の協力、認知症の講座案内などの普及啓発活動。

コミュニティの担い手づくりについて

問 担い手事業の成果は。

答 若者層が主体となって行うイベントで多様な世代の接点が生まれた。

問 これからのコミュニティの在り方の方向性は。

答 住民のつながりを基盤にして地域づくりを進めていくというその根本については変えない。



▲地域の力合わせ



よりよい辰美地区の未来のために

誠道クラブ 齋藤 巧 議員



問 阿万福良湊線の湊登立の道路のカーブ部分の拡幅について。

答 ひょうごインフラ整備プログラムに位置づけはなく、地元調整や周辺環境の変化、周辺の地域づくりなど社会経済情勢の動向を見極めて事業化を検討していく事業であるため、現在は事業化にはいたっていない。市としては、県が進めている事業への支援をしっかりと進めた上で、プログラムへの位置づけを目指していきたい。

問 旧辰美中下の市道の拡幅工事について。

答 交差点から北側は暫定的な待避所の整備が完了している。引き続き、地元の意見を伺いながら事業を進めていく予定。

問 西淡グラウンドの芝張りについて。

答 令和8年度に日本サッカー協会から苗を無償で提供していただき、サッカー協会の協力のもと、芝を植え付ける。スプリンクラーやガーデントラクターは市で用意し、維持

管理はサッカー協会が主体となって設立する社団法人に委託する。

問 慶野松原の枯れ松対策について。

答 松くい虫を防除するため地上散布及び空中散布で薬剤をまき対策をしている。できることをしっかり取り組んでいきたい。



▲湊登立の道路のカーブ



子ども等への支援の充実を！

日本共産党 吉田 良子 議員



中学校給食費の無償化を

問 4月から小学校の給食費は、無償化になるのか。

答 国の支援策と交付金を活用し保護者負担はゼロになる。

問 不登校等の児童の給食費についての市の判断は。

答 交付金を市が預かり、活用する。

問 中学校給食費は、据え置くとどまっている。全国の自治体で無償化が広がっているが、なぜ中学校給食費の無償化に踏み出すことができないのか。

答 他の予算もあり現段階で

は考えていない。

問 淡路島内では小中学校無償化だが、市は遅れているのではないか。

答 しばらくの間、動向をみたい。

問 保育所、認定こども園、幼稚園の給食費はどうか。

答 国の交付金を活用し据え置く。

町ぐるみ健診の充実を

問 認知症対策として聴力検査の実施は。

答 実施できるかどうか検討を進めていきたい。

子どもへのインフルエンザ予防接種の助成は

問 インフルエンザの流行で学級等閉鎖になっている。

答 医師会と協議を進めたい。

障がい者のグループホームの建設を

問 グループホームの現状は。

答 重度障がい者以外のグループホームは不足している。

問 市独自で補助金も可能ではないか。

答 できるだけいい方法を見つける努力はする。



▲町ぐるみ健診



市内温浴施設の課題と方向性をどう考える？

心和の会 蔭山 順子 議員



市内温浴3施設について

問 3施設の指定管理料は。

答 さんゆ〜館が3,510万円、ゆ〜ぷるが800万円、ゆとりっくが2,000万円。指定管理料に修繕費を合わせると市の支出としては年間約1億円の経費がかかる状況。

問 利用料を値上げすれば経営はやっつけられるのか。

答 どの施設も老朽化が進んでおり、設備更新も順次必要になることから厳しい状況に変わらない。

問 将来的な大規模改修や設

備更新を考えれば、中長期的な財政負担の状況を市として、どのように見込んでいるのか。

答 軽微な補修でつないでいける間は運営を継続していきたいが、将来的には大規模改修などが不可欠となることを念頭に統合も含めた様々な選択肢を検討する必要があると考えている。

浮体式多目的公園（メガフロート）について

問 管理棟やトイレ施設の老朽化対策は。

答 令和8年度に屋根、事務

所内の天井、トイレの改修工事を予定、次期指定管理者の意見も柔軟に取り入れた上で改修の時期や内容を検討。

問 メガフロートへの進入路の整備計画は。

答 幅員の狭い道路の局所改良などできる部分から改革を行う。



▲メガフロート



子育ての喜びが見えるまち

ゆづるはクラブ 道中久美子 議員



問 ゆめるんセンターの事業内容は。

答 0歳児から就学前までの親子の交流や、出前広場を開催し地域で子育て支援に取り組んでいる。また、子育て支援コンシェルジュによる相談支援、一時預かり等を実施している。

問 ファミリーサポートセンターとは。

答 依頼会員の子どもを、講習会を受講した提供会員が預かり、子育てを支援する制度。

問 こども誰でも通園とは。

答 就労を問わず生後6か月から年度末までに3歳を迎える未就園児を対象に月10時間まで預けられる制度。

問 子育ての喜びが見えるまちの実現とは。

答 子どもたちを地域の宝と考え、誰もが子どもたちを育てることに関与し、子育て世帯を支援する行動がとれるようなまちになってほしい。

問 灘黒岩水仙郷の愛称と今後の誘客は。

答 施設愛称『Nadacissus あわじ (ナダシスあわじ)』、

展望テラス愛称『ミランカテラス』で冬季だけでなく年間を通した誘客につなげたい。

問 園地安全対策、落石工事は。

答 令和8年度から9年度にかけて、次の水仙シーズンに営業できるよう工夫して工事を行う。

問 灘の赤菊について市の取組は。

答 就農支援プランを策定しサポートしている。省エネ省力化支援をしていきたい。



▲淡路島のレッドダイヤモンド灘の赤菊



安心して暮らせる南あわじ市に！

誠道クラブ 三澤 大祐 議員



国道28号線とオニオンロードとの連絡道路の整備

問 整備状況は。

答 改良済みの路線はあるが、用地買収の課題で止まっている区間もある。既存道路には狭い所もあるが、適切な幅員があるので現時点で道路拡幅等の改良計画はない。

問 大型車の交通量も増えてよくないと思うがどうか。

答 維持管理については適切に行いたい。大型車の通行も多く、舗装の劣化が非常に著しいと認識している。

通学路、通学経路について

問 歩道のない箇所の把握状況は。

答 通学路は歩道の整備された道が優先的に選ばれている。通学経路については歩道があるか実際には把握できていない。

教員等が下校時に危険箇所がないかを確認し、PTA、保護者、地域の力を借り、危険箇所の把握に努めている。通学路安全推進会議で通学路の安全向上に取り組んでいる。

初尾川の整備について

問 河川の土砂堆積の現状把握は。

答 県は把握しているが、現状では撤去に至らない。他に悪い箇所があれば市に要望や通報をいただければ、市が県に伝えたい。





市民の安心・フレイル予防対策は

南あわじ市公明党 熊田 司 議員



合葬式墓地の建設を望む

問 自分が亡くなった後の遺骨の問題を心配する声を聞くことがある。その解決のために合葬式墓地を自治体が運営し、市民の安心を確保している自治体がある。必ず必要になると考えるが、建設に対する市の考えは。

答 合葬式墓地の建設は考えていない。樹木葬や海洋葬など墓石を持たない自然葬等、近年墓の在り方に対する考え方も多様化している。合葬式墓地もその一つと考えている

が、改葬ができないことや個別の墓標がないなどのデメリットがある。

認知症対策にバランスの良い食事を

問 認知症対策でバランスの良い食事を継続して取るために、スマートフォンで食事の写真を撮り専門家に送ってアドバイスをもらうなどの取り組みをしている自治体はないか。

答 東京都の一部の自治体では、生活習慣病予防のために専用のアプリで食事を撮影し、

栄養士がオンラインで具体的なアドバイスを行っている。当市では健康教育や食育講座を定期的で開催し、生活習慣病の予防や健康増進に努めている。先進地の事例も研究し、今後の施策の参考にしていきたい。



▲バランスの良い食事をめざして



陸の港西淡の活用戦略について

大志の会 大江 幸司 議員



問 南あわじ市の玄関口、拠点としての評価について、本市の交通施策の中で陸の港西淡をどのように位置づけるのか、市の見解を伺う。

答 陸の港西淡に高速バスで来られた観光客の方々が、カーシェアをダイハツと協力をして3台置いているので、そこから利用する役割も一定あるのではないかと考える。

問 レンタサイクルもあるが、この利用状況とかは把握しているのか。

答 令和4年度は623人、令和

5年度が700人、令和6年度が793人と、右肩上がり利用者が増えている状況である。

問 広域観光の拠点としてどのように活用していく考えかを伺う。

答 令和8年度から新規事業として、神戸市、兵庫県それから淡路島3市の連携による世界に誇る食のエリア形成プロジェクトが実施される。食をフックとした広域連携事業により、インバウンドをはじめとする多彩な観光や観光客を呼び込むことを目的として

いる。他に、産業廃棄物最終処分場の埋立終了を見据えた将来対応、老朽危険空家対策の加速について質問した。



▲陸の港西淡カーシェアサービス(3台)



未来を支える人材と地域づくりについて

誠道クラブ 山野 由貴 議員



MINA・KATSU 中学校部活動の地域展開

問 市役所のコーディネーターの配置人員と役割は。

答 1名配置。情報共有・調整・相談窓口として助言サポートを行い、学校・地域クラブ・保護者等の連携体制を構築する。

問 運営管理の一元化に向けたDXの活用は。

答 活動場所の調整や相談・連絡など、業務のDXによるワンストップ化により、誰でも引き継げる環境をつくること

を考えている。また、クラブ独自の送迎システム構築などの支援も検討していきたい。

外国人受入れ

問 外国人労働者数は。

答 就労が可能な在留資格者及び特別永住者数は819人。

問 地域トラブルの把握状況は。

答 令和6・7年度とも各1件で、いずれもごみ分別。多い状況にはない。

問 基本方針は。

答 短期的な観点からは担い手不足対策、中長期的には外

国人人材の定着・協働による地域活性化と多文化共生推進の一助として期待。また地域においても、外国人との共生社会に理解を深めていただくことが必要であると考えている。



住み続けられるまちづくりを

絆 北条志津子 議員



温浴施設の現状と課題

問 温浴施設の管理者は。

答 さんゆ〜館・ゆ〜ぶるは(株)かいげつ。ゆとりっくは(株)アクア淡路。

問 利用状況は。

答 令和6年度はさんゆ〜館18万7,325人。ゆ〜ぶる12万2,565人。ゆとりっく15万3,366人。全体として増加傾向。

問 老朽化修繕しているが建設年度は。

答 さんゆ〜館2002年。ゆ〜ぶる2001年。ゆとりっく1995年。

問 物価高騰の影響など4月1日から料金引き上げになるが向上対策は。

答 貴重な地域資源と捉え利便性、集客力を生かし新たな健康づくりを進める。

学校環境を豊かに

問 八木小学校の体育館照明のLED化は。

答 令和8年度にLED照明にし、全ての小中学校の校舎・体育館照明も交換する予定。

問 スポットクーラー設置状況は。

答 令和7年度に全ての小中

学校の体育館に配備。

問 体育館内の洋式トイレ化率は。

答 令和7年度末で62.5%になる。順次、進めている。

他に、防災減災について質問した。



▲さんゆ〜館



▲ゆとりっく



子育ての伴走型支援について

志 仲野 加枝 議員



問 家事や育児の負担が多い家庭は少なくない。家事支援や育児支援を事業内容に含む子育て世帯訪問支援事業を導入してはどうか。

答 必要な事業と認識しており、できるだけ速やかな事業の開始を目指し調整を進めたい。

問 令和7年6月議会で小児科医院充実のため、開業補助制度の検討を質問した。未来医療サポート事業の概要は。

答 小児科、産科、助産院、婦人科の新規開業、あわせて

既存医院の設備更新への助成制度を新設する。

問 南あわじ市公園長寿命化計画とは。

答 計画期間は10年間。計画に規定する14の公園について、施設の重要度と健全度をランク分けし、劣化状況が悪いものについて優先的に遊具の更新、修繕を行う。

問 あわじ環境未来島構想の中で検討されている水素によるエネルギー地産地消モデル構築とは。

答 グリーン水素を島内で製

造し、サプライチェーンを確立することで持続可能な地域エネルギーシステムの構築を目指すもの。兵庫県が令和8年度に実現可能性調査を実施し、9年度の実証事業を目指している。



施政方針について

誠道クラブ 印部 久信 議員



問 施政方針で「高齢者の暮らしを地域全体で支える仕組みを構築」、「地域医療の充実」と書かれている。介護保険料の分担は、国25%、県12.5%、市12.5%、40~64歳まで27%、65歳以上23%。令和8年度の市の負担金額は。

答 約6億円。

問 要支援、要介護の人数は。

答 要支援約1,000人、要介護約2,300人。

問 介護給付費48億円の内訳は。

答 訪問介護・訪問看護・訪

問 間りハビリ等25億円、特別養護老人ホーム・老人保健施設・介護医療院20億円、その他サービス3億円。

問 ふらっと湯の川について。

答 いきいき百歳体操、地域の集いの場、温浴施設、入浴設備もある介護予防の拠点施設。

問 将来的に全域で展開とのことだが。

答 さんゆ〜館、ゆとりっくでモデル的なものを考えている。

問 地域医療の充実について、医療施設数は。

答 5病院、33診療所、21歯科医院。

問 休日応急診療所の対応は。

答 南あわじ市医師会に委託。課題として会員の高齢化、医師の確保が難しくなっている。

問 開業する小児科、産科、助産師等に補助金は。

答 未来医療サポート事業を創設。医師会と協議をし、共通理解を持ち医療体制を維持。



▲ふらっと湯の川でいきいき百歳体操

おもな審議について (会期:1月29日~2月3日)

議案第1号

令和7年度一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ6億4,200万円を追加。

プレミアム付商品券 販売決定

物価高騰対策

▶プレミアム付商品券事業補助金 1億7,500万円追加

- ・1セット1万円で13,500円分のお買い物券
- ・取扱店 市内商店街、商工会加盟店等
- ・利用期間 8月から11月まで
- ・購入上限 1世帯4セットまで
- ・商工会を通じて市内の全世帯に案内予定



●はばたんPay+ 4月~7月 11月まで切れ目のない支援



●プレミアム付商品券 8月~11月

物価高騰対策

全世帯にプレミアム付商品券1セット配布

▶生活応援給付事業 3億7,151万7,000円追加

上乗せ支援も決定

(対象世帯)

- ・住民税非課税 ・住民税均等割のみ課税
- ・ひとり親 ・障がい児童 ・妊婦

原案可決

議案第2号

行政組織条例の一部を改正する条例制定

市役所の組織構成を変更し、市民サービスの向上へ

ここが変わる

- ①市民福祉部を市民部と福祉部に分けるなど
- ②市民福祉部の子育てゆめるん課(保育担当、令和8年4月からはこども未来課)を教育委員会に入れ、保育と教育を一元化
- ③部活動の地域展開も新設部署を設け、窓口を明確化

原案可決



■現在の市役所の組織図は？

QRコードからご覧できます。



■どんな議案だったの？

QRコードから議案をご覧できます。



議決結果

■全議員賛成の議案

提出者	議案名	議決結果
市長	令和7年度一般会計補正予算(第6号)の専決処分	原案可決
市長	令和7年度一般会計補正予算(第7号)	原案可決
市長	行政組織条例の一部を改正する条例制定	原案可決

一部事務組合などの議会報告

■兵庫県後期高齢者医療広域連合

▼第1回定例会〈2月17日〉

副広域連合長に岡本信司氏（猪名川町長）を選任。

令和8年度一般会計予算など5議案を可決。吉田議員が一般質問を行った。

監査委員に細見正敏氏（丹波市）を選任。

■淡路広域行政事務組合

▼第1回定例会〈2月19日〉

吉田議員、阿部議員が一般質問を行った。

令和8年度一般会計予算、淡路地域広域ごみ処理施設敷地造成工事変更請負契約の締結など10議案を可決。

■淡路広域消防事務組合

▼第1回定例会〈2月19日〉

阿部議員が一般質問を行った。

令和8年度一般会計予算など4議案を可決。

▼第2回臨時会〈3月27日〉

議長に先田正一議員（洲本市）を選出。

令和7年度一般会計補正予算（第3号）を可決。

監査委員に近藤昭文議員（洲本市）を選任。

■淡路広域水道企業団

▼第1回定例会〈2月19日〉

吉田議員、阿部議員が一般質問を行った。令和8年度事業会計予算など3議案を可決。

▼第2回臨時会〈3月27日〉

副議長に福島昌幸議員（洲本市）を選出。職員や会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定を可決。

■南あわじ市・洲本市小中学校組合

▼第1回定例会〈2月26日〉

令和8年度一般会計予算など3議案を可決。木元寿夫議員（洲本市）と間森和生議員（洲本市）が一般質問した。

▼第2回臨時会〈4月7日〉

副議長に投石真知議員（洲本市）を選出。監査委員に武田裕匡議員（洲本市）を選任。教育委員会委員に近藤宰常氏（南あわじ市）を任命。

■洲本市・南あわじ市衛生事務組合

▼第1回定例会〈3月30日〉

議長に近藤昭文議員（洲本市）を選出。令和7年度一般会計補正予算、令和8年度一般会計予算など3議案を可決。

監査委員に福本巧議員（洲本市）を選任。

摘要	件数	支出額(円)
祝金	5	42,000
見舞金	0	0
香料	0	0
供花	8	42,000
賛助	0	0
会費	6	58,000
その他	7	56,806
合計	26	198,806

令和7年度議会交際費支出報告
(予算70万円)

議会交際費とは、議長等が対外的な交際を行うための経費です。支出基準に基づき、支出しています。

■詳細はQRコードから
ご覧できます。



議会を傍聴しませんか

だれでも自由に
見たり、聴いたりできるんです



第140回 南あわじ市議会定例会日程(6月)

◆開会はずべて午前10時～

会議日	会議内容(予定)
第1日 6月3日(水)	1. 条例案上程 2. 令和8年度一般会計補正予算案上程 3. その他の案件上程
第2日 6月15日(月)	1. 一般質問
第3日 6月16日(火)	1. 一般質問
第4日 6月17日(水)	1. 一般質問 2. 追加議案上程
予備日 6月18日(木)	
第5日 6月25日(木)	1. 付託案件委員会審査報告、表決
委員会 6月19日(金)	総務文教常任委員会 (付託案件の審査)
6月22日(月)	産業厚生常任委員会 (付託案件の審査)

5月の委員会等日程

委員会	日時	場所	内容
議会運営委員会	5月26日(火) 午前10時	委員会室	6月定例会について
総務文教常任委員会	5月19日(火) 午前10時	委員会室	重点調査、事業評価等
	5月20日(水) 5月22日(金)		管外視察 (富山県南砺市、石川県珠洲市、福井県坂井市)
産業厚生常任委員会	5月11日(月) 午前10時	委員会室	重点調査、事業評価
	5月13日(水) 5月15日(金)		管外視察 (愛媛県松山市、島根県美郷町、岡山県総社市)

編集後記

青空を泳ぐこいのぼりが風に揺れる季節となりました。子どもの頃、その姿に心躍らせた記憶がよみがえります。5月は新生活にも少しずつ慣れ、それぞれが歩みを進める時期です。新入生や新社会人も日々成長を重ねておられることでしょう。かくいう広報広聴常任委員会も、さらにステップアップした議会だよりを皆様にお届けすべく、こいのぼりのように空高く力強く歩みを進めてまいります。(原)

議会広報広聴常任委員会

仲野 加枝
北条志津子
山野 由貴
道中久美子
原 拓生
阿部 守

中学校の卒業式でインタビュー！



- ① 修学旅行で行った初めてのスカイツリーや友達と過ごしたホテルが楽しかった
- ② 寂しいけど、高校に行っても頑張る
- ③ 獣医師

- ① 友達と過ごした楽しかった日々
- ② 中学校を離れるのはとても寂しい
- ③ 高校でも友達をたくさん作って楽しい思い出をつくりたい



- ① 自分達で作上げた最後の文化祭の劇！
- ② みんなと離れるのは寂しいけど、中学での経験を生かし、高校でも頑張る
- ③ 担任の先生のような中学校の先生



- ① 体調不良者が多い中、みんな頑張った体育会
- ② 3年間の経験が今後につながるよう頑張りたい
- ③ 幼いころ、ケガを治療してくれた医師のような医師



- ① 修学旅行
- ② 新しい環境に不安もあるけど、高校生活も頑張りたい
- ③ はっきり決めていないので、これから見つけたい



- ① 学年発表や楽器の演奏をした学習発表会
- ② みんなと離れるのは寂しいけど、高校でも頑張りたい
- ③ 医療関係の仕事

① 中学校の思い出は？ ② 今の気持ちは？ ③ 将来の夢、これからしたいことは？

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。